

I 2021年度のトピックス

1 列車内での粗暴行為への対応力強化に向けた取り組み

昨年、他社線で複数回発生した列車内での傷害事件を受け、当社では、列車内での粗暴行為を想定した訓練を実施しました。

ここでは、これらの取り組みとともに、お客さまがこのようなトラブルに遭遇したとき、乗務員に異常発生を知らせる方法や、避難する方法などを紹介します。

(1) 粗暴行為を想定した訓練(神戸三宮)

実施日：2021年12月3日(金) 営業列車終了後

場 所：神戸三宮駅3番線ホーム



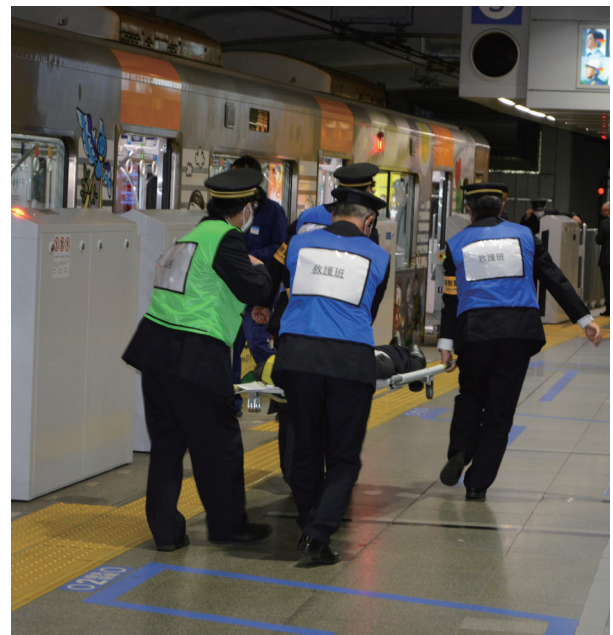
担当からひとこと

走行中の列車内で粗暴行為が発生したという緊迫した状況において、各所への確実な連絡とお客さまの避難誘導、そして緊急時のホームドアの取扱い確認を主目的とした警察・消防との合同訓練を実施しました。

ホームドアは、列車が定められた範囲内に停車すると自動で開扉する仕組みになっています。今回の訓練では、列車がこの範囲外に緊急停止、ホームドアが自動開扉しない状況とし、ホームドアを手動で開扉することで、脱出経路を確保しながら避難誘導する手順を確認しました。(運輸部)



犯人の確保



負傷者の救出

(2) 粗暴行為を想定した訓練(大阪梅田)

実施日：2021年12月10日(金) 10:30～11:30

場 所：大阪梅田駅1番線ホーム



担当からひとこと

大阪梅田駅では、粗暴行為対応訓練のほか曾根崎警察署の術科指導員による「さすまた」操法訓練を行いました。

以前より駅長室に「さすまた」を配備していましたが、正確な使用方法等を学ぶ機会が少ないことが課題でした。今回の訓練では、「さすまた」の握り方や構え方をはじめ、具体的な操法や粗暴犯と遭遇した時のポイントについて、術科指導員から実技指導を受けることができ、当社係員の知識並びに技能のレベルアップにつながりました。

また、車両の非常設備やホームドアの非常開扉などの取扱いについて警察・消防と情報共有し、有事の際の避難誘導などに関する連携を図りました。(運輸部)



さすまた操法の指導



ホームドアの緊急開扉



担当からひとこと

2022年度は、4月に桜川駅において相互直通運転を行っている近畿日本鉄道と合同訓練を、西元町駅では警察・消防との合同訓練を実施し、お客さまの安全が確保できるよう緊密な連携体制を構築しています。

今後も沿線の警察・消防等と連携のうえ、有事に備えた訓練を継続的に実施し、異常時の対応力強化に努めます。(運輸部)

(3) 緊急事態発生時の対応設備

① 車内防犯カメラの試験運用

列車内のセキュリティ向上と犯罪の抑制を目的とした防犯カメラを一部の営業車に試験的に設置しています。



2022年5月24日から普通車1編成を用いて試験を行っています。運転指令等の遠隔地でリアルタイムに映像を確認できるシステムとしており、列車内のセキュリティ向上につなげたいと考えています。

試験の結果を踏まえて、他の車両への設置を検討します。(車両部)

担当からひとこと







車内防犯カメラ設置状況

② 非常通報設備等の操作方法

列車内で粗暴行為等の緊急事態が発生した際は、下記を参考に各設備を操作いただくようお願いします(P16「車両の安全対策」もご参照ください)。

緊急事態発生時の設備について

緊急事態発生時に、お取り扱いいただける車内やホームドアの設備について、ご紹介します。

非常通話装置(車内)	非常通報・ドアコック(車内)	消火器(車内)	ホームドア 非常用開ボタン
 <p>非常事態等が発生した際に、乗務員と通話ができます。 ※一部、乗務員と通話ができない車両があります。</p>	 <p>フタをあけると 電車が止まります</p> <p>非常時にハンドルを手前に引けば、ドアが手であけられますが、みだりに車外に出ると危険ですので、操作は係員の指示に従ってください。</p>	 <p>車内で火災が発生した際に、ご使用ください。</p>	 <p>緊急時には、このボタンを押すと、ホームドアを開けていただけます。</p>

2 更なる安全性向上に向けた取組み

(1) ホームドアの整備

当社では、ホームからの転落事故などを防止するために、ホームドアの設置を進めています。

神戸三宮駅では、2022年3月にすべてのホームへの設置が完了しました。また、大阪梅田駅では、2021年10月に1番線ホームへの設置が完了しました(→P6【梅田駅改良工事】をご参照ください)。今後も、大阪梅田駅においては駅改良工事に合わせてホームドアの設置を進めます。



神戸三宮駅3番線 (大開口型)



神戸三宮駅2番線 (昇降ロープ式)



担当からひとこと

当社は近畿日本鉄道・山陽電気鉄道と相互直通運転を行っているため、神戸三宮駅には車両の長さや扉数の異なる多種多様な車両が乗り入れており、それらに対応できるホームドアの設計や設置工事に苦労しました。

1・3番線は大開口型、2番線は昇降ロープ式を採用することで、この度すべてのホームへの設置が完了し、ホームの安全性を向上させることができました。工事中はご協力いただきありがとうございました。(工務部)

(2) 現在進行中の安全推進プロジェクト

【阪神なんば線淀川橋梁改築工事】

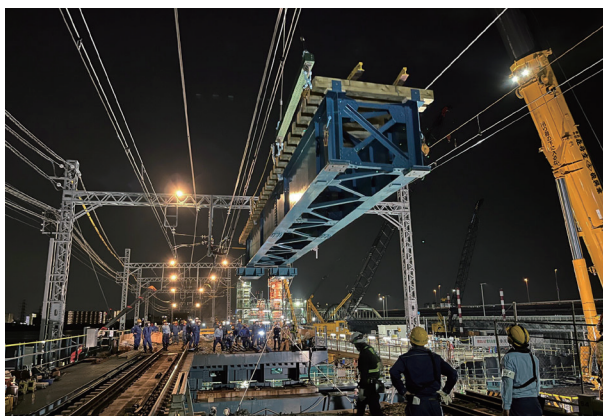
現在の阪神なんば線淀川橋梁は、線路部分が堤防の高さより低く、台風接近等により高潮が想定されるときには列車を運休させて防潮鉄扉を閉鎖する必要があります。これを恒久的に解消するために本橋梁を嵩上げ(2029年予定)するとともに、前後の区間を高架化し、工事区間(約2.4km)にある5か所の踏切道を廃止します(2031年予定)。



完成イメージ図



仮下り線切替前



仮下り線切替工事状況



仮下り線切替後

福駅から淀川橋梁までの一部区間において、昨年度実施した仮上り線(大阪難波方面行)切替に続き、去る2022年5月に仮下り線(尼崎方面行)切替工事を実施しました。今後も、順次仮線への切替を実施しながら、工事を進めます。

数字が語る阪神電車①

39本⇒10本

現在の阪神なんば線淀川橋梁の河川内橋脚は39本です。現在施工中の改築工事が完成すると、この橋脚は10本に生まれ変わります。

橋脚が減ることで川の水が流れやすくなり、荒天時の増水によるはん濫の危険性も低下するなど、地域の防災にも貢献します。

【梅田駅改良工事】

大阪梅田駅では、お客さまにより快適で、安心してご利用いただけるよう、ホームの拡幅・延伸、ホームドアの設置、西改札口側へのエレベーター・エスカレーターの新設置および東・西改札口の駅務室等の配置変更と美装化等の工事を進めています。



完成イメージ図



東口(B1階)

2021年度は、東口(B1階)並びに東口改札前(B2階)の美装化等の工事を進めました。また、10月には新1番線の工事が完了し、ホームドアの供用も開始しました。



東口改札前(B2階)



新1番線

工事中は、ご利用のお客さまにご不便をおかけいたしますが、ご協力よろしくお願いいたします。